

臨床研修体験談

麻酔・疼痛緩和科 遠藤秀時

すべては患者さんのために



総合南東北病院について

- 郡山にある病院
- 駅からは遠い（けど家賃補助たくさんもらえる）
- 病床は461病床ということになっている
- 二次救急（三次を狙っている）
- 診療科
大体そろってる
病棟が無い科：小児科、産婦人科、腎臓、糖内代、精神科

総合南東北病院のイメージ

- 外科病院なんでしょ？
確かに外科病院、手術件数が多く、症例も豊富
- 急性期病院なんでしょ？
県内トップの急性期病院
- ブラックなの？
結局ローテート科による、労働環境は年々改善されている
当直明けは帰れるよ



研修医の仕事

- 新患外来
消化器内科、神経内科、呼吸器内科でやった
- 手術の手伝い、たまに執刀
よくあるのは虫垂炎の腹腔鏡下虫垂切除術の執刀
- 入院患者管理
回診、採血、検査、IC などなど
- 救急外来当直
ここでの働きっぷりが重要！



救急外来でのお仕事

- 輪番日に当直を行う
- 指導医1人、2年目1人、1年目1人で対応
- 1回の当直で10-20人くらいみる
- ウォークイン、救急車すべてのファーストタッチは研修医の仕事
- どのような症例が来るか
例) 心肺停止症例、心不全急性増悪の対応、気胸に胸腔ドレーン挿入
交通外傷など多発外傷の対応、敗血症性ショックの対応などなど

救急車がくる！

- 前情報が届く
鑑別考える、必要そうなものの準備
- 到着した
第一印象はどうか、病歴聴取、身体所見、エコー、血液ガスなどで鑑別を挙げる
- 検査どうする
血液検査、尿検査、画像検査など
- 治療どうする
- 帰宅？入院？



学生から研修医へ

- 国試の勉強は役に立つ
→ しっかり勉強してくださいね
- 薬の知識も必要になってくる
- それぞれの科の見え方が変わってくる
→ なりたい科はいくらでも変わりうる
- 給料もらえる
→ 責任にお金が発生している



研修で感じたこと

- 知らないことが罪になる、勉強大事
- 目的はなにかを考えること大事
- 常に最悪を考えること大事
- コミュニケーション大事
- どの科でも学ぶべきことはある、学ぶ姿勢大事
- 将来の方向性をちゃんと考えるの大事

なぜ麻酔科になったか

- 豊富な手術症例があり、麻酔科ローテーションが楽しかった
- 病態を考えるのが面白い
- 選択肢の多様性がある
- 急性期が好き
- 集中治療に興味がある



最後に

- どの研修先に行っても大きな差は生まれない
結局はどのような目的を持って2年を過ごすのかが大事
- 学生の時になりたかった科はいくらでも変わりうる
色々な科をローテートしてみてください
- コミュニケーションはとても大事
研修のしやすさが変わります
- 健康に過ごすことが一番大事
無理せず、休む時は休む





ご清聴ありがとうございました！

